

社長挨拶

# 45周年を 迎えて



代表取締役社長 まるやま 丸山 おさむ 修

2017年7月1日、住化分析センターは、おかげさまで創立45周年を迎えました。

1972年に住友化学株式会社の分析部門から独立して以来、当社は分析・評価技術を磨き、最先端・最新鋭の分析装置を備えて、お客様のニーズにお応えすべく努めてまいりました。

今日では医薬品、医療機器、エレクトロニクス、自動車、新素材・新材料開発、エネルギー、環境、食品、化学物質登録申請・安全性評価、危険性評価、分析器材（元素分析計、HPLCカラム、試薬合成）など、あらゆる産業分野の分析ニーズにお応えできる国内有数の総合分析・評価会社に成長しました。

これもひとえにお客様はじめ関係各社の皆様、ご指導いただいた先生方のご支援とご愛顧によるものと心より感謝申し上げます。

振り返りますと当社45年の歴史も国内外の経済状況に影響を受け、決して平坦な道のりではありませんでした。発足以来の理念であります「お客様の信用と信頼をもっとも大切にし、分析技術を基盤としてお客様と社会の発展に貢献する」との思いを常に持ち、お客様の要望や時代の要請に応え、技術開発を重ねてまいりました。このことが当社事業を支え、当社発展の原動力となりました。

2008年のリーマンショック後の世界的な大不況や2011年の東日本大震災は、これまでになく経済や産業に大きな影響を及ぼしました。産業構造が変貌し、事業環境も急速に変化し、企業再編が進みました。また、IoTやビッグデータ、ロボット等技術革新が従来にないスピードで起こっており、当社も変革が求められています。

# コーポレートスローガン

---

すべては分析に始まる  
輝かしい  
未来の設計のために  
最高の分析技術を通じて  
人類と社会に貢献する

---

これまで受託分析業には、「アウトソーシング」という役割が大きく求められていましたが、技術が高度化し、研究開発の流れやスピードが変わって来た今、研究開発を加速するためのパートナーとしての役割も求められるようになってきております。当社も、独自の技術開発を進めるとともに、オープンイノベーションを活用して、より迅速に最新技術を取り入れてお客様のニーズに応えて参ります。

当社は、技術開発センターを有しており、自社による技術開発に加え、社外機関とも連携しながら最先端技術の開発を進めています。また、国内6か所のラボラトリーにおいても、それぞれ特長的な技術を持って受託分析業務を行いながら、ラインナップの拡大・新技術の取り込みとサービスの向上に取り組んでおります。さらに、アジア・ヨーロッパ地域にも拠点を設けており、お客様のグローバルビジネス展開を支援させていただいております。

私たちは、これからもお客様から信頼される企業として、分析・評価技術の更なる研鑽に努め、ご満足いただけるサービスを提供し、お客様の事業の発展に貢献し続けたいと思います。

皆様にお届けしております技術広報誌「SCAS NEWS」も、1995年の発行以降今号で通巻第46号となりました。掲載の論文・記事は、各分野を牽引されている先生方からのご寄稿も含め、当社の最新技術やサービスをご紹介します。

これからも幅広く様々な産業分野の皆様のお役に立てるよう、内容の充実に努めてまいりますので、ご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。